

平成27年度 事業計画書

平成26年4月 1日から

平成27年3月31日まで

学校法人 増田学園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 増田学園（昭和59年12月26日法人設立）

代表者 理事長 増 田 崇 祥

住 所 大阪市東住吉区田辺6丁目6番13号

電 話 06-6622-3897

FAX 06-6624-3891

設置する学校

住 所 大阪市東住吉区田辺6丁目6番13号

名 称 認定こども園今川幼稚園

役 員

理 事 6名

監 事 2名

評議員 13名

理事会 2回開催

評議員会 2回開催

職 員 15名

2. 事業概要

（ 認定こども園今川幼稚園 ）

《教育方針》

豊かな情操教育（音楽・造形・知育）、外国人講師による英語、専任講師による体育を通して、一人ひとりの個性を大切にし、確かな感性と自信をつける

《教育内容》

登園（9時）後、約1時間、全園児で自由遊び、リトミック体操・サーキットトレーニングをしています。先生も子どもたちも互いに名前を知り、毎週1回ホールに集まり、歌や手あそび、なぞなぞをしたりして、縦のつながりを大切にしています。園舎から常に明るい歌声が響いています。

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス 数計	園児数 計
	クラス数	園児 数	クラス数	園児 数	クラス数	園児 数		
定 員	1	25	2	70	2	70	5	165
25年度	2	35	2	27	1	32	5	94
26年度	2	33	2	30	1	27	5	90

	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス 数計	園児数 計
	クラス数	園児 数	クラス数	園児 数	クラス数	園児 数	クラス 数	園児数	クラス 数	園児数	クラス 数	園児数		
定 員	1	3	1	9	1	18	2	50	2	60	1	35	8	175
27年度	1	3	1	9	1	12	2	38	2	32	1	29	8	123

《保育時間》

● 1号認定こども

月～金曜日 午前9時～午後2時30分

● 2、3号認定こども

保育標準時間

月～金曜日 午前7時30分～午後6時30分

土曜日 午前7時30分～午後4時

延長保育 午後6時30分～午後7時 (別途125円)

保育短時間

月～金曜日 午前8時 ～午後4時

土曜日 午前7時30分～午後4時

《納付金》

保育料 大阪市(又は各地方自治体)が定めた保育料

給食費 週5回 1食 370円

施設協力費 年額 12,000円

行事積立金 年額 18,000円

絵本代 810円、860円

《入園時の費用》

入園準備事務手数料 50,000円(3歳児～)

《預り保育内容及び費用》

1号認定こどものみ

月～金曜日 午後2時30分～午後7時

(夏冬春休み中の預り保育は午前8時30分～午後7時、年末年始・お盆を除く)

1時間250円

月額 日数×時間×80%

《行事实施状況》

春の遠足(大阪城公園)、七夕会、プール、運動会、絵画展、秋の遠足(王子動物園)、クリスマス会、音楽発表会、六甲宿泊保育、お誕生会、消防訓練、避難訓練、防災訓練

《施設関係》

園地面積 778㎡ 運動場面積 573㎡

《設備関係》

備品類を総点検して更新の有無を判断する。

《事業計画》

平成27年度より子供・子育て支援新制度に基づく、教育・保育を一体的に行う施設「認定こども園」がスタートした。それに伴い、本園では、多様な家庭のニーズに応え、安定して園児の確保を行うために、幼保連携型認定こども園へと

移行した。

新制度にはまだまだ課題もあり、不安を覚える部分も有るが、どのような状況になろうとも、保護者に選ばれる認定こども園になるために、教員組織を整え、笑顔のある心地よい環境に整備していくことが肝要となる。

採用については、今春に卒業した大学生の就職率（4月1日時点）が前年同時期に比べ2.3ポイント上昇の96.7%となった。4年連続の改善で、1997年4月の調査開始以降、リーマン・ショック直前の2008年春（96.9%）に次ぐ2番目の高水準となった。文科省が19日発表した今春卒業の高校生の就職率（3月末時点）は0.9ポイント上昇の97.5%。5年連続の改善で、92年春（97.9%）以来、23年ぶりの高水準となっはいるが、幼稚園・認定こども園業界の採用は、保育所の増設による保育士需要の増加やピアノの問題、仕事内容の多様性等の問題から、思うように人材確保が出来にくく、採用難となっている。

そのような状況下、当園の新年度の園児数は全職員の努力により、前年度より33名増加、3歳児に関しては5名増加となり、7学級123名スタートとなる。

さらなる向上を図るために、1号認定こどもに対しては、さらなる預かり保育の充実と未就園児への取組が重要になっている。2、3号認定こどもに対しては、安心して長時間こどもを預けられるよう、環境の整備・保育の質の向上に努める。全体としては、子育ての悩み等相談機能を高め、当園への関心を高めるようより丁寧に取り組むこととする。

《収支予算》

別紙